

## 3Dドキュメンタリー映画「大津波3.11 未来への記憶」(特別編集版)の上映を行いました (2015/3/14-18)

テーマ：東日本大震災 3Dドキュメンタリー映画上映会  
 会場：東北大学川内北キャンパス A200

WCDRRのパブリックフォーラムのひとつとして、川内北キャンパス A200 において、3Dドキュメンタリー映画「大津波 3.11 未来への記憶」(WCDRR 特別編集版 25分)の上映会を3月14日から18日の期間中、連日行いました。この作品は、災害科学国際研究所の今村文彦所長が監修し、寄附研究部門のサッパシー・アナワット准教授、情報管理・社会連携部門の柴山明寛准教授、佐藤翔助教が取材に協力しました。また、取材・製作全般を統括する総合プロデューサーを情報管理・社会連携部門の智片通博特任教授(客員)が担当しました。

震災直後から3年半にわたって、東北沿岸各地を3Dカメラで定点観測的に映像記録した「世界唯一」の震災3Dドキュメンタリー作品です。ダイナミックに変貌するそれぞれの土地の風景の移り変わりに、津波で家族を失いながら数秒、数センチの差で奇跡的に生き残ったひとびとの心象風景を重ね合わせ、3年半という時間軸を付けて立体的に構成した作品です。震災初期の実態を3Dで記録した貴重なアーカイブにもなっています。

日本語版と英語版を30分おきに上映し、期間中およそ450人の来場者があり、その7割は外国からの来訪者でした。

